

令和7年度 学校経営グランドデザイン

よく考え 助け合い やりぬく 柳津の子

-よく考える子 助け合う子 やりぬく子-

願う子どもの姿

よく考える子

- ★興味・関心をもち、自分に合った学び方で学べる子
- ★働きかけ考えを広げ・深める子

助け合う子

- ★互いの思いを尊重し、折り合いをつけ話し合える子
- ★仲間に寄り添い行動できる子

やりぬく子

- ★向上や成長をめざし、あきらめずにやり抜く子
- ★社会の変化に対応できる子

具現のために

【自分づくり】

授業に前向きに取り組んでいる 90%

- ・学が楽しさ・意味を実感できる授業
- ・専門的な授業（外部講師、教科担任）
- ・自分の学びを見つめる自己評価
- ・学習支援ソフトの積極的活用
- ・学習内容の定着の確認

【関係づくり】

学校に行くのは楽しい 90%

- ・安心できる・心地よい居場所
- ・人権感覚の育成
(よさみつけ、あいさつ、言語環境見つけ)
- ・縦割活動 学年集会
- ・仲間の尊重（話の聞き方）、協働
- ・校内教育支援センター

【未来づくり】

やり抜く粘り強さ80%

- ・達成感を味わう教育活動
- ・目標の設定と振り返り
- ・役割の自覚（清掃）・体育的行事
- ・ぎふMIRAI'sでの探究的な学び
- ・安全安心な生活づくり
(保健、給食、命を守る取組)

笑顔と輝きをうみだす学校経営の指導改善サイクル

学校経営	【学校評価】	児童・保護者評価(年2回)→課題分析→取組改善→実態把握→次年度の改善
自分づくり	【自己評価】	「できた」「わかった」のある授業、単元、期末ごとの学びの振り返り→日常指導
関係づくり	【学力・学習状況調査等】	全国学力・学習状況調査(7年4月)→指導改善
未来づくり	【いじめアンケート】	年3回(6・11・2月 全学年)→教育相談、個別指導、全体指導→日常指導
教職員磨き	【学年サポート制】	学年職員による教科指導、学年職員による見届け、学年集会→日常指導
	【6ステージ制】	ステージごとの合言葉を生かした教育活動のうみだし→実践→次年度の改善
	【組織での対応】	学年主任会の位置づけ。ミドルリーダーの育成→次年度の改善

笑顔と輝きをうみだすための研鑽と修養

- (1) 「できた・わかった」につながる個別最適な学び
- (2) 一人一人を大切に人権教育への理解と実践、協働的な学び
- (3) 教師の本分・授業力を付ける(1人1提案授業)
- (4) 人材育成のための分掌(立場が人を育てる)

笑顔と輝きをうみだすコミュニティ・スクール

- ★学習ボランティアの活用(全学級実施)
- ★地域諸団体との連携・協力による学校行事や授業、地域行事への参加
- ★地域、PTA、家庭による登下校指導

【子どもたちに期待する言葉】 ◆「おもしろそう」、「やってみたい」、「新しいことを知ることって楽しい。」◆「みんなでやるとたのしい。」、「教室に入ると落ち着く。」、「安心して発表できる。」◆「大変だったけれど、あきらめずにやってよかった。自信が付いた。」、「自分の役割を果たすことで達成感も味わえることがわかった。」

【職員のスタンス】 謙虚(誰に対しても)、誠実(仕事に対して)、しなやかさ(一人で抱え込まない)

【職員の共通意識】 尊厳を守る。いじめやひやかしを許さない。寄り添う。「どうしたの」からの対話。可能性を信じる。みんな、できるようになりたいと思っている。見届け・支援。子どもも大人も「できない」ままにしない。できるような指導や支援を。正義の確立。だめなものはだめ、指導をためらわない。(合理的配慮は行う。)法令順守。

教育実践
キーワード

笑顔と輝きをうみだす柳津小学校